

Mission Intern in Vietnam～課題解決型研修

薬学研究科 1 年 野村 佳音

ベトナムでのビジネス研修に参加し、現地の企業の社長様からミッションをいただく機会がありました。そのミッションを達成するために、ベトナム人学生と協力しながらプレゼンテーションを行いました。

ミッションに取り組む中で、ロジカルシンキングや OPQ 分析を常に意識しながら、毎日 G-PDCA サイクルを回して課題に向き合いました。G-PDCA とは、Goal（目標設定）を最初に定め、その後 Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の流れで進めていくフレームワークです。私たちは、限られた時間の中で最善の成果を出すために、このサイクルを高速で回しながら課題解決を目指しました。



しかし、最初のインターンでのミッションは失敗に終わってしまいました。その要因として、私は相手の立場に立って物事を考える視点が欠けていたことが挙げられます。プレゼンテーションを行う際も、自分の視点ばかりを重視してしまい、相手のニーズを十分にくみ取れていませんでした。さらに、チームとしての動きも不十分で、一人で突っ走ってしまった結果、メンバーの意見をしっかりと反映できなかったことも課題として浮かび上がりました。

この失敗から学び、次のミッションでは「相手の立場に立って考えること」と「チームでの役割分担」を意識して取り組みました。まず、相手の視点から課題を分析し、ニーズを正確に把握するよう努めました。また、チームメンバーとの意思疎通を密にし、役割分担を明確にした上で、それぞれが自分の責任を持って行動できるようにしました。その結果、チーム全体として効果的に課題に取り組むことができ、見事にミッションをクリアすることができました。



この研修を通じて、私はビジネスにおけるコミュニケーションの重要性を再認識しました。相手の立場に立って考えることで、より適切な提案ができるようになり、またチームの力を最大限に活かすことで、個人では成し遂げられない成果を生み出せることを実感しました。

この経験を今後のキャリアに活かし、さらなる成長を目指していきたいと考えています。

